

# みんなもやってみよう

## 第1回 ダンボールコンポスト実験記録

令和3年5月17日から美吉野環境ステーションでダンボールコンポストの実験を開始しました。これからダンボールコンポストをはじめの方の参考になればと思います。

きっかけは、

美吉野環境ステーション職員の K 君がテレビで放送しているのを観て、「一度ダンボールコンポストを作ろう。実験しよう。だれもが簡単に楽しみながらごみの減量になるのでは・・・」と提案しました。

すると、

話を聞いた O 君は、「ダンボールコンポスト？」聞いたことはあるが・・・いろんなことを調べてみよう。

なんと、

「どこの市町村もやってるやん。いろんな団体もやってるやん。」

しかし、

「中に入れる素材がいろいろあるなー。一般的な素材は”ピートモス”と”もみ殻くん炭”かー。」よーし、とりあえずやってみよう。

ところが、

「エエー、1つ作るのに600円以上もかかるー。これじゃーごみの減量になっても財布にやさしくないー。」もっと安くできる方法はないかなあー

そうしていると、

T君が、「ただ(無料)の素材でやってみよう。たとえば、”ぬか”や”土”でも代用できるんじゃないかなあー。あと、”腐葉土”なら安く売ってるよ。」

よーし、

いろんな実験をしてみよう。

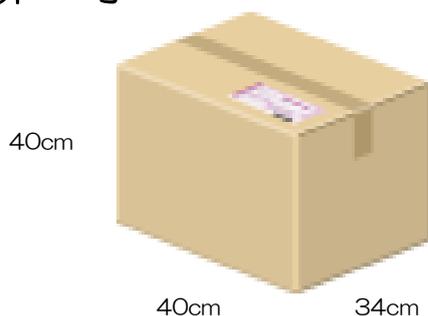
相談の結果3つの実験を始めました。

素 材	比 率 (体積 20L)	正味重量	内部温度	資材の費用 (注)
① ピートモス+もみ殻くん炭 【説明1】 【説明2】	3:2とした場合	5.5kg	25℃	約640円
② 腐葉土(パーク堆肥)+米ぬか 【説明3】	5:5とした場合	8.2kg	27℃	約130円
③ 米ぬか+土	3:1とした場合	11.2kg	27℃	0円

(注)購入する内容量によって費用の増減があります。

◎ 上部シャツを含む空箱の重さ 1.0kg

外 寸



### 【説明1】ピートモス

ピートモスの、主原料は「ミスゴケ」です。長い時間泥の中で堆積し炭化したものを碎いて乾燥させたものがピートモスです。用途は、畑など土壌を変化させる「改良土」として利用されており、有機酸を含むため「酸性」が強いです。

### 【説明2】もみ殻くん炭

もみ殻くん炭とは、稲についているお米の外側の皮を、400以下の低温でいぶし炭化させたものです。用途は畑に混ぜ込むと土をフカフカにします。保水性・通気性・排水性を改善させるために利用し、土の中の微生物の増殖にも役立ちます。その上、酸性を「中和」させることもできます。

### 【説明3】腐葉土(パーク堆肥)

腐葉土(パーク堆肥)とは、樹木の皮を原料に発酵させたものです。もみ殻くん炭と同様、畑に混ぜ込むと土をフカフカにし、保水性・通気性・排水性を改善させる効果があります。土に混ぜた堆肥は微生物に分解され、植物の栄養となります。

## 5月18日（月）【準備】

ダンボールコンポストを作りました。

(1)なるべく厚めのダンボールを用意し、底をしっかりテープで補強します。



(2)別のダンボールで底を2重にします。



○2重底にするのは、ダンボールの劣化と水もれを防ぐためです。

(3)今回の実験に使用する材料です。



ピートモス

もみ殻くん炭

腐葉土

ぬか

土

★ピートモス・くん炭・腐葉土はホームセンターや園芸店などで販売しています。ぬかは精米所で手にはいります。土はできる限り畑の土を使用してね！

(4)土壌となる材料を調合し、よく混ぜます。(水を加えながら全体がある程度湿るようにかき混ぜます。軽く握って固まる程度!)



★写真は①の調合状況です。

(5)Ph【説明 4】 と温度をはかりました。



写真は②の Ph



写真は③の温度

#### 【説明 4】 Ph

Ph（ペーハー）とは、酸性なのか、アルカリ性なのかを表す尺度です。

数値は1から14までの値となっており、7が真ん中で「中性」といいます。Phが7より小さいと「酸性」、7より大きいと「アルカリ性」となります。

Phが安定しないと微生物は生育しません。

(6)育苗パレットを下に敷き、上に古着をかけました。



○育苗パレットはダンボールの底に敷いて、通気性をよくするためです。

○今回は古着を使用しましたが、虫の進入を防ぐものなら何でも **OK**

（不要になった家庭にある長袖のTシャツの襟口・袖口を縫ったり縛ったりして下さい。）

**さあー、実験スタートです**

★気温は気象庁” 五條観測所 平均気温 “の数字です。

## 5月18日(火)【実験1日目】 気温 20.9℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	24	昨日と変わりなし。	
② 腐葉土+米ぬか	52	昨日に比べ、基材が締まって体積が減っている。	基材が固くなっています。結構温度が上がったなあ。
③ 米ぬか+土	29		基材が固くなっています。

### 投入物

アルファ米(五目ごはん) 100g 保存期限が切れたものを入れました。  
 パンケーキ 50g //  
 合計 150g  
 湿度の維持 お湯 160cc 少し乾燥ぎみであったので、資材を湿らせるために入れました。



②Ph・温度測定状況



①投入状況

## 5月19日(水)【実験2日目】 気温 19.2℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	21	昨日入れたの物を細かくしました。	
② 腐葉土+米ぬか	39		所どころ白いカビが発生した。白カビは、分解が進んでいる証拠です。
③ 米ぬか+土	41		



①分解状況



②分解状況



③分解状況

5月20日(木)【実験3日目】 気温 19.9℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	23	分解が進むよう内容物を広げました。 ごはん粒は分解したが、③は、表面に 白いカビが見受けられました。	内からの湿度と雨のため、ダンボール がフニャフニャで交換した方がよい かも。
② 腐葉土+米ぬか	42		
③ 米ぬか+土	41		



①分解状況



②分解状況



③分解状況

## 5月21日(金)【実験4日目】 気温 19.9℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	23	前回の内容物がほぼ分解しました。	前日からの雨で、ダンボールがフニャフニャになり交換しました。
② 腐葉土+米ぬか	34		
③ 米ぬか+土	41		



①分解状況



②分解状況



③分解状況

この日は、全てのダンボールを交換しました。その際、中の素材を出して大きく混ぜて新しいダンボールに戻しました。そうすることで、「空気が含まれ素材が活性化するのは？」と考えました。

そのあと、新しいごみを入れました。

### 投入物

今回は、野菜を中心に入れました。

キャベツ(外葉)	80g	じゃがいも(傷みかけのもの)	70g	
玉ねぎ(傷んだもの)	80g	りんごの皮	30g	
バナナの皮	40g			
		合計		300g



投入物測定状況



投入物と大きさ

3つ共、ダンボールが新しくなったよ!



投入状況です。真ん中に5cmほどの溝を掘って埋めました。

## 5月24日（月）【実験7日目】 気温 18.0℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	23		分解が弱くなっなのかなあー
② 腐葉土+米ぬか	26	キャベツが黄色の変化している程度です。	
③ 米ぬか+土	32	野菜・果物くず、共に変化がありませんでした。	

### 投入物

素材の力を取り戻すために「パワーアップ素材」として水を 500cc づつ加えてよくかき混ぜました。明日が楽しみ・・・

**「パワーアップ素材」とは、水や食用油、おがくず、牛脂を入れることで素材の微生物を活性化させます。また、温度を上昇（60℃くらい）させると、虫を死滅させることもできます。**

## 5月25日（火）【実験8日目】 気温 19.5℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	25	余り温度が上がっていません。	分解が弱くなっなのかなあー
② 腐葉土+米ぬか	38	昨日より 12℃上昇しました。	発酵が進んできたー？
③ 米ぬか+土	40	昨日より 8℃上昇しました。	

### 投入物

もう少し素材の力を取り戻すために今度は「廃食用油」250cc を①と③に加えました。

**廃食用油の回収業務もやっています。  
ご協力をお願いします。**

5月27日(木)【実験 10日目】 気温 14.8℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	20	前日に、廃食用油を入れましたが温度が上がってきません。 外気温が低い時は、発酵も進まないようです。	「水」と「廃食用油」では反応するのに時間差があるのかなあー？
② 腐葉土+米ぬか	18		
③ 米ぬか+土	20		

**\*実験用を続けるには、いろいろな種類の生ごみが必要となります。また、ある程度のごみ量も確保しなければなりません。そのために吉野中学校の給食担当の方々をお願いして、普段のごみと別に確保していただけることになりました。ご協力感謝します。**

5月28日(金)【実験 11日目】 気温 18.6℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	22	温度が上がってきません。	「水」と「廃食用油」では反応するのに時間差があるのかなあー？
② 腐葉土+米ぬか	21		
③ 米ぬか+土	23		



①分解状況



②分解状況



③分解状況

オレンジの皮です。

**投入物**

実験なのでおもいきって「廃食用油」1000cc づつを入れました。  
中学校からいただいた、野菜やパンくずを 500g づついれました。



①投入状況



②投入状況



③投入状況

5月31日(月)【実験 14日目】 気温 19.8℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	35	余り分解が進んでいません。	②は分解しているのに①と③との「差」はなに？ 素材の持つ「力」の「差」？
② 腐葉土+米ぬか	38	よく分解しています。	
③ 米ぬか+土	44	ほとんど分解していません。	



①分解状況



②分解状況



③分解状況

●掘り返す前の写真で分かりづらいです。すみません

6月2日(水)【実験 16日目】 気温 20.6℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	27		表面に白カビ発生！
② 腐葉土+米ぬか	28	じゃがいも・人参は分解されていませんが、葉物はほぼ分解しました。	発酵が進んできたー
③ 米ぬか+土	42	野菜や果物の皮は分解が遅いです。	

投入物

野菜くず・スパゲッティサラダ 300g



①投入状況



②投入状況



③投入状況

6月3日（木）【実験 17 日目】 気温 20.0℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	31	じゃがいもは以前のままですが、その他は分解が進んでいます。	じゃがいもや果物の皮は分解がおそいなあー
② 腐葉土+米ぬか	40		
③ 米ぬか+土	42	全体的に分解が進んでいる模様です。	



①投入状況



②投入状況



③投入状況

投入物

アルファ米（おかゆ） 250g 保存期限が切れたものを入れました。



①投入状況



②投入状況



③投入状況

●あえて、分解状況を確認するため「かためて」投入しています。

前日のスパゲッティは一度になくなるのではなく、いくつかの玉になりそれが数日かけて他の資材と混ざることにより分解されました。

## 6月4日（金）【実験 18 日目】 気温 19.7℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	30	分解が進んでいる模様です。	虫が発生するようになりましたが、素材をよく混ぜることで発生はなくなりました。
② 腐葉土+米ぬか	40		
③ 米ぬか+土	40		

### 投入物

アルファ米（炊き込みごはん） 300g 保存期限が切れたものを入れました。  
 野菜くず 100g 合計 400g

## 6月7日（月）【実験 21 日目】 気温 22.7℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	40	表面に白カビ発生！	
② 腐葉土+米ぬか	42	じゃがいもの大きな皮以外は、順調に分解しています。	野菜や果物の皮は、細かくしてから投入する方が良いと思います。
③ 米ぬか+土	39		

## 6月9日（水）【実験 23 日目】 気温 23.7℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	46	分解は、それぞれ進んでいます。	水は毎日、牛乳ビン 1 本程度入れた方が温度が安定するように思います。また、週に 1 回程度 1～2L 入れてはどうか？
② 腐葉土+米ぬか	37		
③ 米ぬか+土	35		

## 6月10日（木）【実験 24 日目】 気温 23.2℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	42	水分量が少なく、素材がサラサラしています。	土日に発酵を進めるために、明日廃食用油を投入しよう。
② 腐葉土+米ぬか	34		
③ 米ぬか+土	34		

6月11日(金)【実験25日目】 気温 22.5℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	18		温度が低すぎます。
② 腐葉土+米ぬか	25		①に比べ素材を混ぜると温かいです。
③ 米ぬか+土	26		

投入物

野菜くず 500g  
 温度を上げるため、「廃食用油」500cc づつを入れました。

6月14日(月)【実験28日目】 気温 22.6℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	33	分解が余り進んでいません。	水は、発酵に不可欠な要素です。廃食用油は、更にその温度を上げ発酵スピードを早めるものだと考えます。
② 腐葉土+米ぬか	32		
③ 米ぬか+土	30		

投入物

パン 200g  
 とうふ 100g  
 合計 300g



①投入状況



②投入状況



③投入状況

## 6月15日(火)【実験29日目】 気温 22.7℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	35		
② 腐葉土+米ぬか	42	昨日のパンがほぼ原形のまま残っていましたが、箱の温度は上昇しています。	明日は、期待 <b>大</b>
③ 米ぬか+土	40		

### 投入物

野菜くず 500g  
 パワーアップ素材「廃食用油」500cc づつを入れました。

## 6月16日(水)【実験30日目】 気温 20.3℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	38	昨日のじゃがいもの皮がそのままです。 皮以外は、順調に分解しています。	温度等の条件が良くてもじゃがいもの皮は分解しにくいようです。
② 腐葉土+米ぬか	42		
③ 米ぬか+土	42		

## 6月17日(木)【実験31日目】 気温 22.0℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	38	今日は、分解しやすいものを入れてみました。	
② 腐葉土+米ぬか	39		
③ 米ぬか+土	37		

### 投入物

卵(オムレツ)・あぶらあげ・豆腐 400g

6月18日(金)【実験32日目】 気温 20.4℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	30		屋根のある所に置いていても、湿度でダンボールがダメになりやすいです。また、ねこ?(小動物)にいたずらされましたので、保管には注意して下さい。
② 腐葉土+米ぬか	33		
③ 米ぬか+土	30		

投入物

給食残飯 100g

6月21日(月)【実験35日目】 気温 22.3℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	30	素材を握っても、パサパサして固まらない。水分が必要かも?	
② 腐葉土+米ぬか	33		
③ 米ぬか+土	30		

投入物

豆腐・ごはん 200g  
パワーアップ素材「水」500cc づつを入れました。

6月22日(火)【実験36日目】 気温 21.9℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況(作業)	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	38		前日の「水」投入が効いたみたいです。温度上昇中!
② 腐葉土+米ぬか	42		
③ 米ぬか+土	42		

## 6月23日（水）【実験 37 日目】 気温 22.8℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	35	この1週間は、箱の温度も30℃以上あり、水分量とのバランスもとれて、分解も順調です。	今日は、少し「おがくず」【説明5】を入れて変化をみたいと思います。
② 腐葉土+米ぬか	39		
③ 米ぬか+土	40		

### 投入物

パワーアップ素材【説明5】

「おがくず」1CUP（150cc）、「水」500cc づつを入れました。

#### 【説明5】 おがくず

ノコギリなど木材を加工するときを生じる目の細かい木屑のことです。製材所などから多くに出ます。

## 6月24日（木）【実験 38 日目】 気温 21.3℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	38	乾燥気味ですので、水を入れます。	昨日の「おがくず」は効果が無かったように思います。
② 腐葉土+米ぬか	40		
③ 米ぬか+土	40		

### 投入物

キャベツ 100g

パワーアップ素材、「水」500cc づつを入れました。

## 6月25日（金）【実験 39 日目】 気温 21.0℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	42	順調に分解が進んでいます。	
② 腐葉土+米ぬか	42		
③ 米ぬか+土	45		

### 投入物

豆腐・ベーコン・野菜 200g

パワーアップ素材、「廃食用油」500cc づつを入れました。

## 6月28日（月）【実験 42 日目】 気温 22.2℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	30		小動物にフタを開けられた模様です。幸い被害はありませんでしたが、長時間フタが開いた状態になっていたので温度が下がったのでは？
② 腐葉土+米ぬか	30		
③ 米ぬか+土	35		

### 投入物

豆 腐 300g  
パワーアップ素材、「廃食用油」500cc づつを入れました。

## 6月29日（火）【実験 43 日目】 気温 23.4℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	45		ごみの臭い対策に「コーヒーかす」を入れてみました。
② 腐葉土+米ぬか	46		
③ 米ぬか+土	42		

### 投入物

災害備蓄用 アルファ米 250g 保存期限が切れたものを入れました。  
（おかゆ）

パワーアップ素材、「廃食用油」1,000cc づつを入れました。  
コーヒーかす（コーヒーかすには、脱臭効果があるらしいです。代用品として、紅茶かす・ハーブも OK です。）

**ここで一旦、投入を中止します。**

## 6月30日（水）【実験 44 日目】 気温 23.6℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	51	前日の廃食用油 1L が効いたのか、ダンボールの外側から触っただけで、高温なのが分かりました。	グーンと温度が上昇しました。
② 腐葉土+米ぬか	52		
③ 米ぬか+土	56		

## 7月1日（木）【実験45日目】 気温 21.3℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	31		外気温が下がると、発酵にもブレーキがかかるようです。
② 腐葉土+米ぬか	28		
③ 米ぬか+土	32	他に比べて素材がホコホコしていました。	

### 投入物

パワーアップ素材、「廃食用油」500cc づつを入れました。

## 7月2日（金）【実験46日目】 気温 23.0℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	30	昨日同様、外気温と同じく温度がひくいです。	「コーヒーかすの効果か？」臭いが少なくなったように思います。
② 腐葉土+米ぬか	32		
③ 米ぬか+土	39	③は他のものに比べ、安定的に温度が高いです。	

### 投入物

パワーアップ素材、「廃食用油」500cc づつを入れました。

## 7月5日（月）【実験49日目】 気温 26.5℃

実験番号	箱の温度(℃)	内部の状況（作業）	気になる事・気づいた事
① ビートモス+くん炭	30	箱の中に虫に卵を植え付けられたみたいです。	温度管理の徹底が必要です。
② 腐葉土+米ぬか	32		
③ 米ぬか+土	35	箱の中に虫に卵を植え付けられたみたいです。	温度管理の徹底が必要です。

7月5日をもって今回の実験は終了しました。

分解に必要な素材の状態は、まだまだ余力がありましたが、ある程度のデータが集まりましたので、結果をまとめ、第2回の実験を行いたいと思います。

出来たコンポスト堆肥は、美吉野環境ステーションの「あじさい」に与えました。大きく成長することを期待しています。

# 実験結果

(単位：kg)

	① ピートモス+くん炭	② 腐葉土+米ぬか	③ 米ぬか+土
①はじめの重さ	5.5	8.2	11.2
②入れたごみの重さ	4.8	4.8	4.8
③入れた水や廃食用油の量	7.4	7.4	7.4
④終わりの重さ	6.9	7.3	10.5
⑤分解した全ての重さ (①+②+③) - ④	10.8	13.1	12.9
⑥分解したごみの重さ (①+②) - ④	3.4	5.7	5.5

- ※ 水や油は 1cc=1g に計算しました。
- ※ 「おがくず」と「コーヒーかす」は加算していません。

## 気付いたこと (注意点)

### 置き場所

- 雨のかからないところに置いて下さい。  
(ダンボールが湿気でもフニャフニャになります。)
- 出来れば納屋のような所で保管して下さい。  
(小動物に狙われます。)

### 資材の管理

- コンポストに投入しない日も、出来る限り混ぜるようにして下さい。その際、湿り度合いを確認して下さい。  
(発酵の促進となります。)
- 温度の管理に注意して下さい。  
(温度が下がると分解スピードが鈍ります。)
- 水や廃食用油を入れるときは、底から混ぜるようにして下さい。  
(下の部分で固まってしまう。)
- Ph は常に安定していたので、特に気にする必要はないと思われます。  
(常に7前後を保っていました。)

### その他

- 生ごみは放置せずその日に入れて下さい。  
(すぐに虫が発生します。)
- においが気になる場合は、コーヒーや紅茶のかすを入れて下さい。  
(多少の消臭効果があります。)

# 今回の実験における優秀選手は・・・

## 採点表

5点 大変良い / 4点 良い / 3点 普通 / 2点 やや悪い / 1点 悪い

### ① ピートモス+くん炭

資材の費用	1点	600円以上の費用をかけるのはどうか？
分解能力	2点	前評判に比べて、少なかったなあー
資材の臭い	4点	ほぼしなかった。
混ぜやすさ	4点	材料が軽く混ぜやすかった。
温度の管理	2点	日によってばらつきがみられた。
今後の期待度	3点	比較的情報が多く試すものが見当たらない。
総合評価	<b>16点</b>	今回の実験では、本来の力が発揮できなかったかも？

### ② 腐葉土+米ぬか

資材の費用	4点	約130円であれば缶コーヒー並み・・・
分解能力	5点	腐葉土と米ぬかのマッチングはOK
資材の臭い	3点	混ぜた時に米ぬかの臭いが強かった。
混ぜやすさ	2点	米ぬかが水分によって締まってしまう。
温度の管理	3点	パワーアップ素材を入れると反応が早い。
今後の期待度	4点	腐葉土と米ぬかのマッチングがよく比率を変えて試したい。
総合評価	<b>21点</b>	比率を変えることで混ぜやすさや資材の臭いの改善に繋がるのでは・・・

### ③ 米ぬか+土

資材の費用	5点	0円は、超魅力的です。
分解能力	4点	安定的な力があつたかなあー
資材の臭い	2点	混ぜた時に米ぬかの臭いが強かった。
混ぜやすさ	2点	米ぬかが水分によって締まってしまう。
温度の管理	4点	比較的安定していた。
今後の期待度	3点	米ぬかが安定的な働きをしているのでは・・・
総合評価	<b>20点</b>	箱の重量が一番重く取扱に苦労した。

注) この採点は、今回の実験結果をもって審査したものであり、実際の評価とそぐわない場合もあります。

この結果をもって、

「② 腐葉土+米ぬか」を中心に

第2回ダンボールコンポストの実験を行います。

### 終わりに、実験を担当したK君からひと言

今回は、3つのパターンを比べる事に重点を置いての実験でしたので、あえて投入量を少なくしたり、投入回数も少なくしたりしました。また、大きめに切った生ごみを入れたりもしました。実際は、細かくすればもっと早く、もっと多くのごみを分解できたと思います。

ダンボールコンポストは、誰もが簡単に少ない費用でできる”ごみの減量”です。実験を通じて分かったことは、決して決まった材料を使って「素材」を作る必要が無いことです。また、混ぜ合わせる比率も決まったものが無く、いかに微生物の活性を保つかが「カギ」になると思います。

皆さんも一度チャレンジしてはいかがでしょうか。生ごみを投入した次の日が楽しみに感じてきます。皆さんがやった結果や、得た方法・経験を参考にさせていただきたいので、教えていただければ幸いです。

よろしくお願いします。